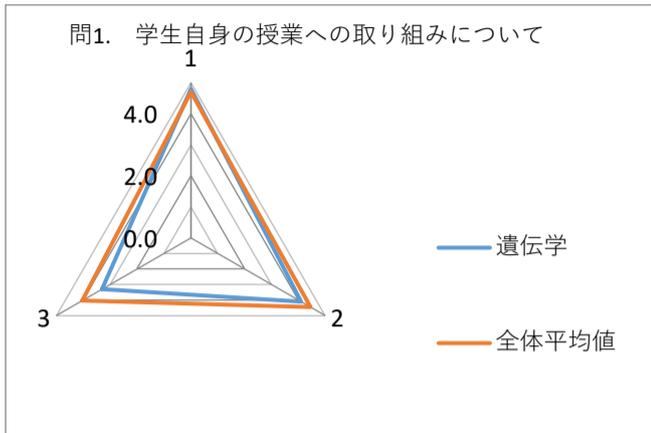


令和3年度第4学年前期「遺伝学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

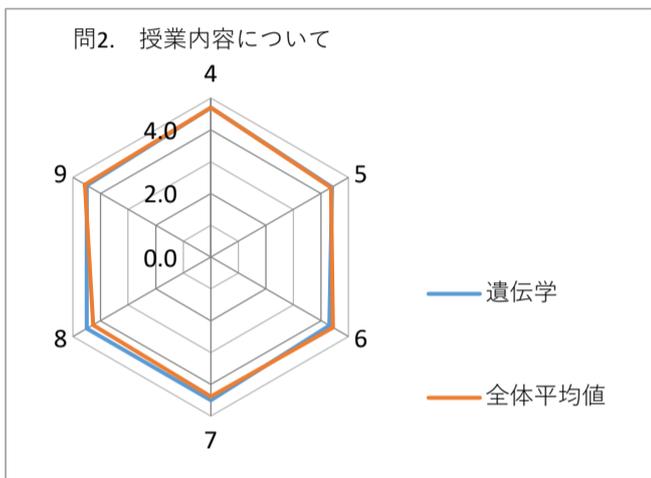
履修者数	回答者数	回答率
87	65	75%

実施時期(令和3年8月10日～令和3年8月13日)



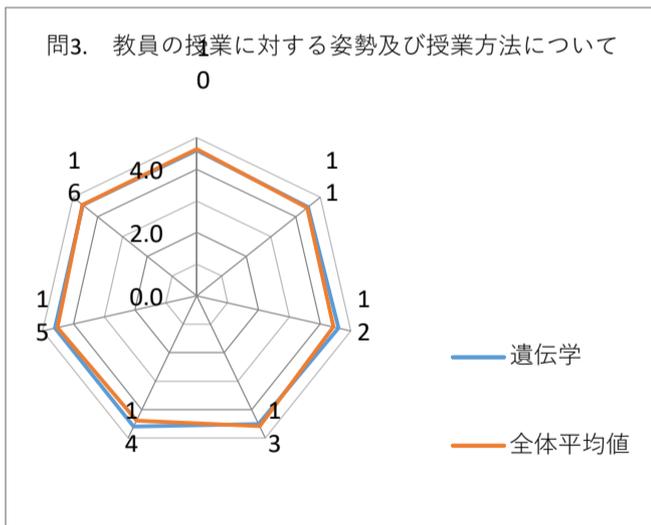
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	遺伝学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.4	4.9
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.5	4.1	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	4.0	3.3	4.9



問2. 授業内容について

	遺伝学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.7	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.4	3.2	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.4	3.2	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.4	3.5	4.9
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.3	3.5	4.6
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.6	3.9	5.0



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	遺伝学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.6	3.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.5	3.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	2.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	3.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	2.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	3.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.6	3.6	5.0

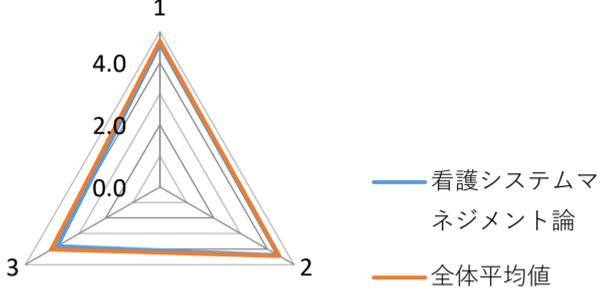
令和3年度第4学年前期「看護システムマネジメント論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	16	18%

実施時期(令和3年8月10日～令和3年8月13日)

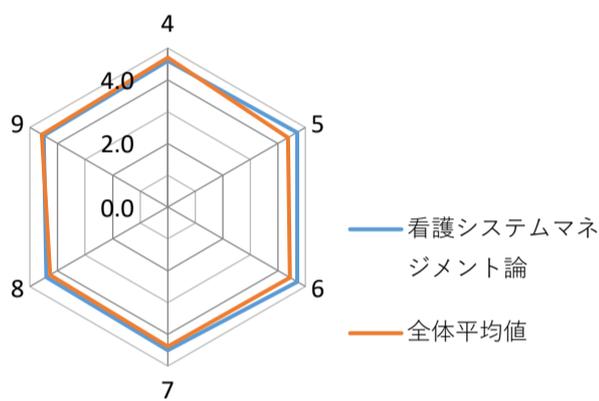
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.4	4.9
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.5	4.1	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	4.0	3.3	4.9

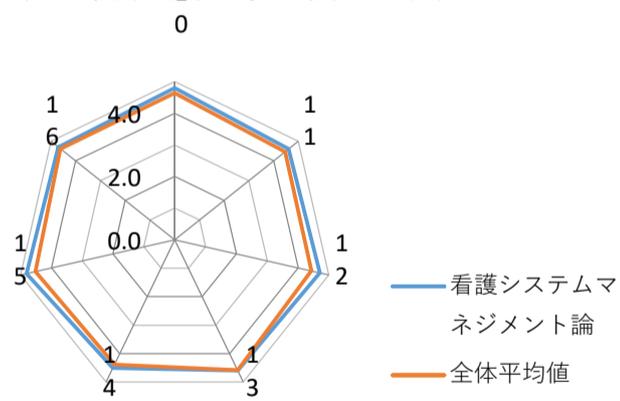
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.7	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.2	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.4	3.2	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.4	3.5	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.3	3.5	4.6
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.6	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

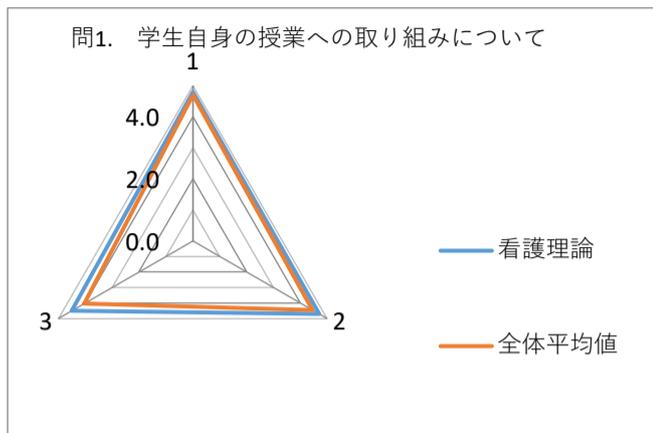
	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.5	3.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	2.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.6	3.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.4	2.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	3.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.6	3.6	5.0

令和3年度第4学年前期「看護理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

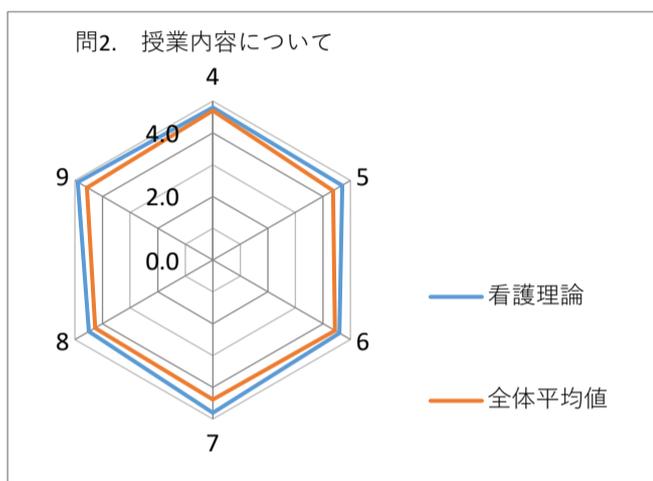
履修者数	回答者数	回答率
86	17	20%

実施時期(令和3年8月10日～令和3年8月13日)



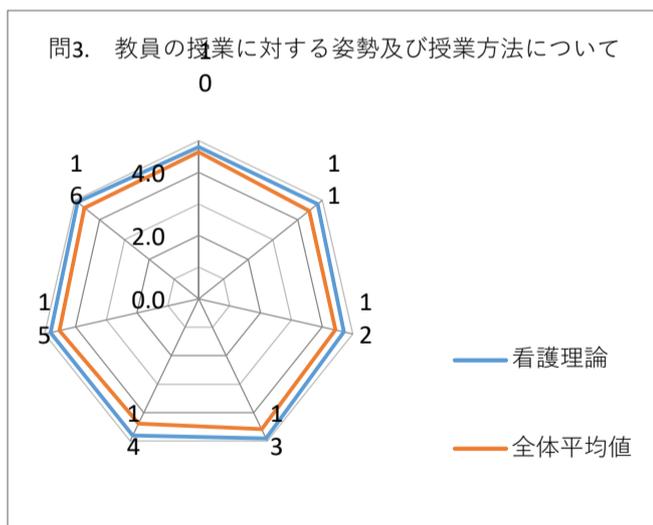
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.4	4.9
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.5	4.1	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	4.0	3.3	4.9



問2. 授業内容について

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.7	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.2	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.4	3.2	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.4	3.5	4.9
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.3	3.5	4.6
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.6	3.9	5.0



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

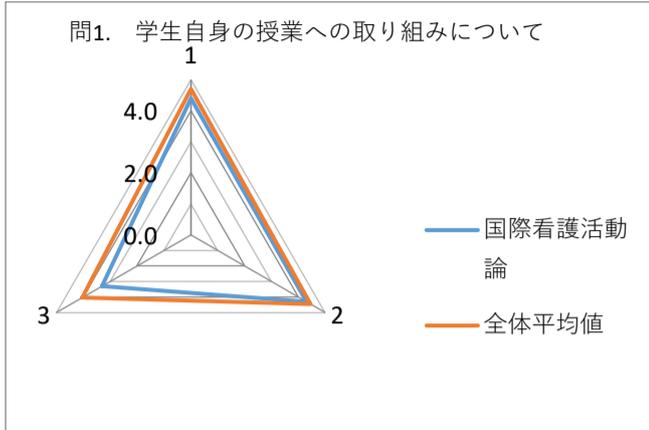
	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.5	3.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	2.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.6	3.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.4	2.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	3.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.6	3.6	5.0

令和3年度第4学年前期「国際看護活動論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

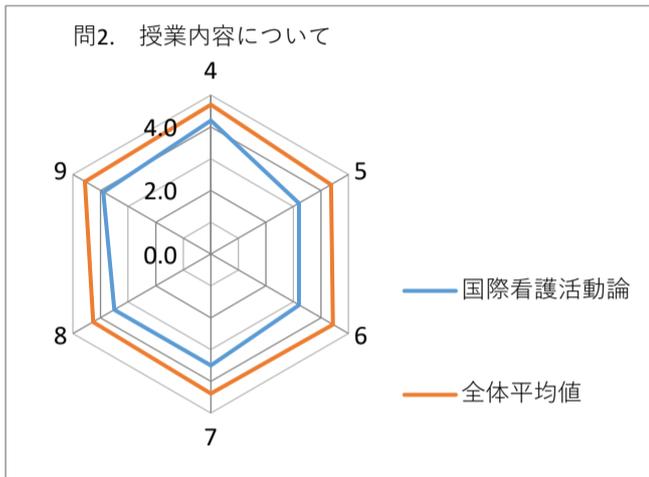
履修者数	回答者数	回答率
88	22	25%

実施時期(令和3年8月10日～令和3年8月13日)



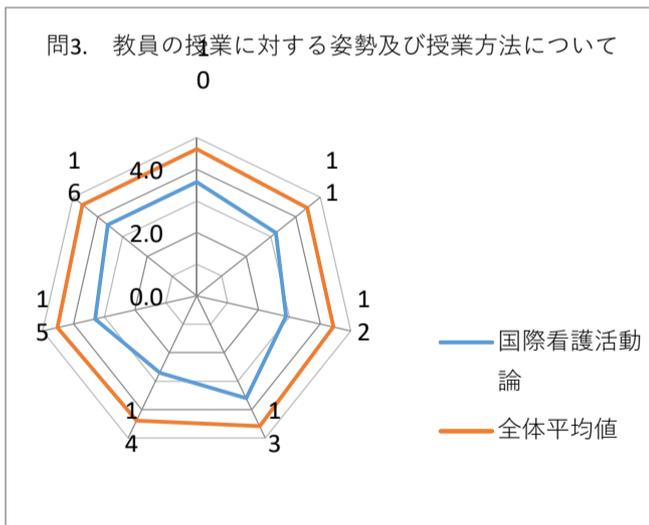
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.4	4.7	4.4	4.9
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.5	4.1	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	4.0	3.3	4.9



問2. 授業内容について

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.2	4.7	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.2	4.4	3.2	4.7
6 授業の内容はレベルが適切であった。	3.2	4.4	3.2	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	3.5	4.4	3.5	4.9
8 知的な好奇心が刺激された。	3.5	4.3	3.5	4.6
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.9	4.6	3.9	5.0



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

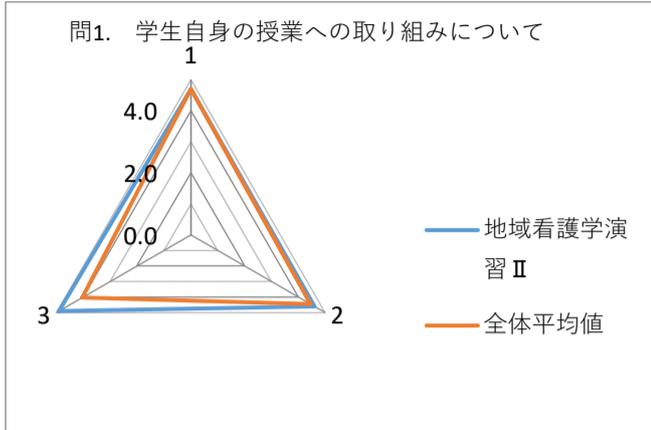
	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.6	4.6	3.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.2	4.5	3.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	2.9	4.4	2.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.6	4.6	3.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	2.7	4.4	2.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.3	4.5	3.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.6	4.6	3.6	5.0

令和3年度第4学年前期「地域看護学演習Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

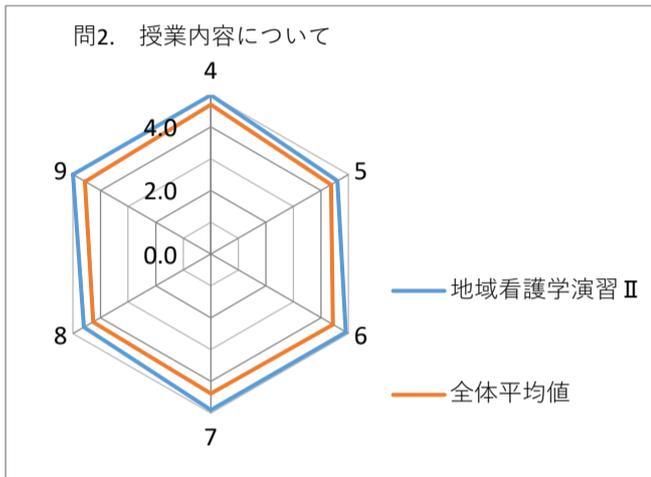
履修者数	回答者数	回答率
19	7	37%

実施時期(令和3年8月10日～令和3年8月13日)



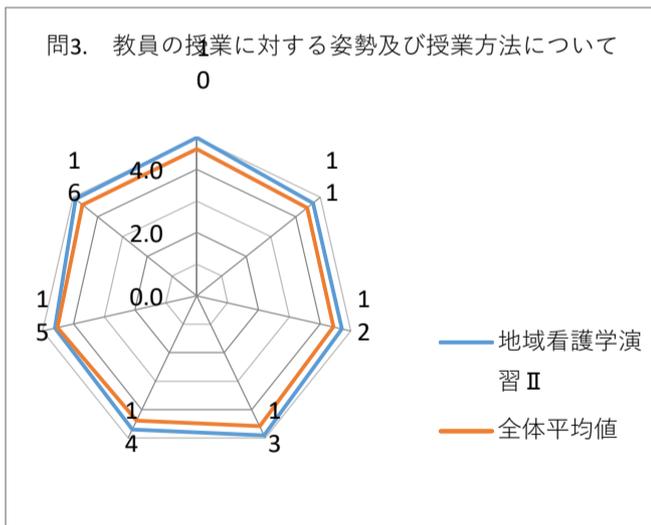
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学演習Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.4	4.9
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.5	4.1	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	4.9	4.0	3.3	4.9



問2. 授業内容について

	地域看護学演習Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.7	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.4	3.2	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.4	3.2	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.4	3.5	4.9
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.3	3.5	4.6
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.6	3.9	5.0



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

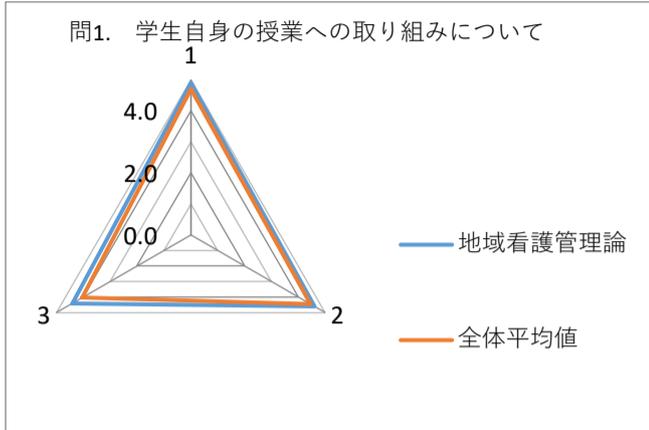
	地域看護学演習Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	3.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.5	3.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	2.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.6	3.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.4	2.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	3.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.6	3.6	5.0

令和3年度第4学年前期「地域看護管理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

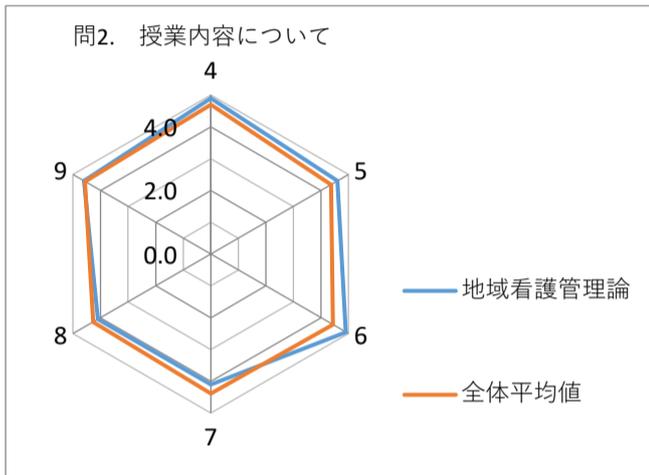
履修者数	回答者数	回答率
19	7	37%

実施時期(令和3年8月10日～令和3年8月13日)



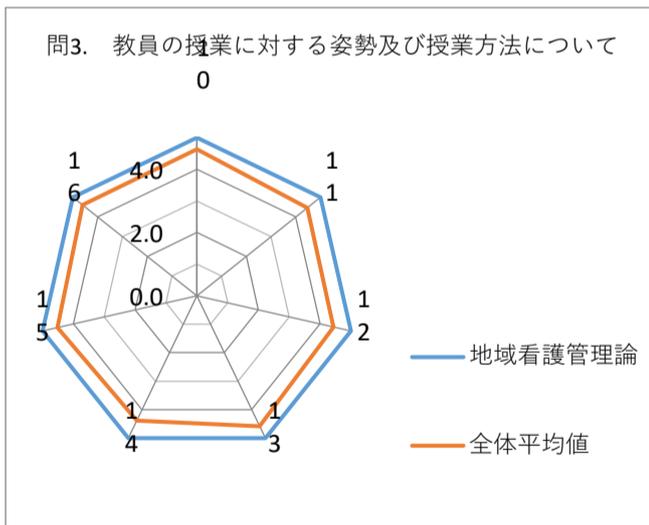
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.4	4.9
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.5	4.1	4.7
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	4.0	3.3	4.9



問2. 授業内容について

	地域看護管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.7	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.4	3.2	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.4	3.2	4.9
7 授業内容に興味を持てた。	4.1	4.4	3.5	4.9
8 知的な好奇心が刺激された。	4.1	4.3	3.5	4.6
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	3.9	5.0



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	3.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.4	2.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.6	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.4	2.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.5	3.3	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.6	3.6	5.0

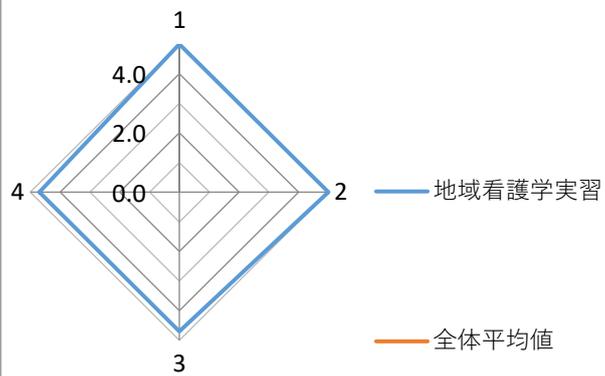
令和3年度第4学年前期「地域看護学実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
19	6	32%

実施日(令和3年8月10日～13日)

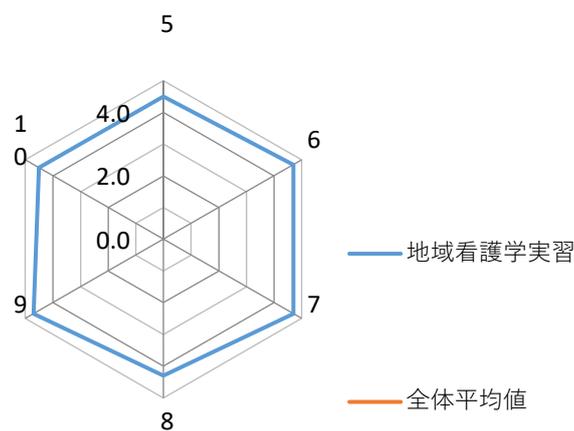
問1. 学生自身の実習への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	地域看護学実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1	5.0	-	-	-
2	5.0	-	-	-
3	4.7	-	-	-
4	4.7	-	-	-

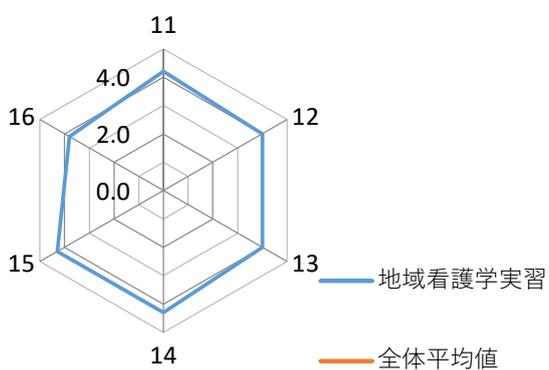
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	地域看護学実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
5	4.5	-	-	-
6	4.7	-	-	-
7	4.7	-	-	-
8	4.3	-	-	-
9	4.7	-	-	-
10	4.5	-	-	-

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 指導体制・学習環境について

	地域看護学実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
11	4.2	-	-	-
12	4.0	-	-	-
13	4.0	-	-	-
14	4.3	-	-	-
15	4.3	-	-	-
16	3.8	-	-	-

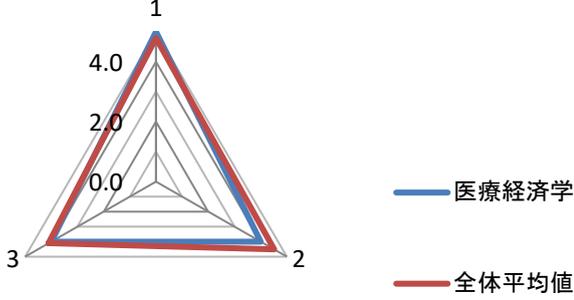
令和3年度第4学年後期「医療経済学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
1	1	100%

実施時期(令和3年7月20日～令和3年8月13日)

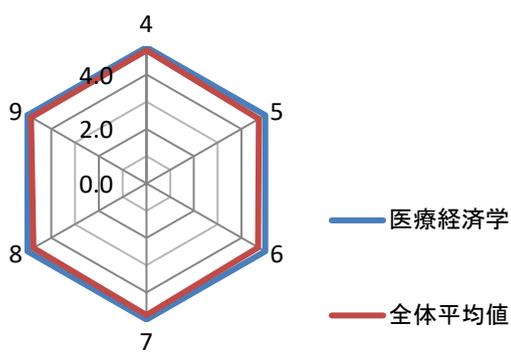
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	医療経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	4.1	3.4	4.8

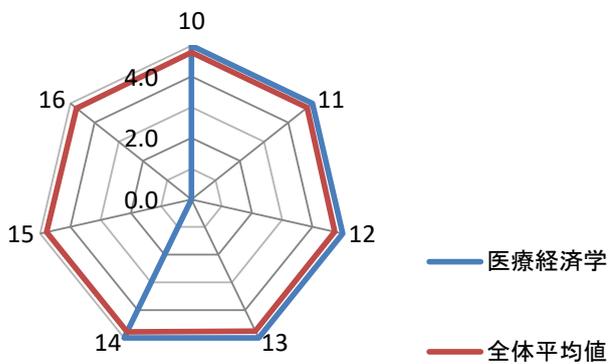
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	医療経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



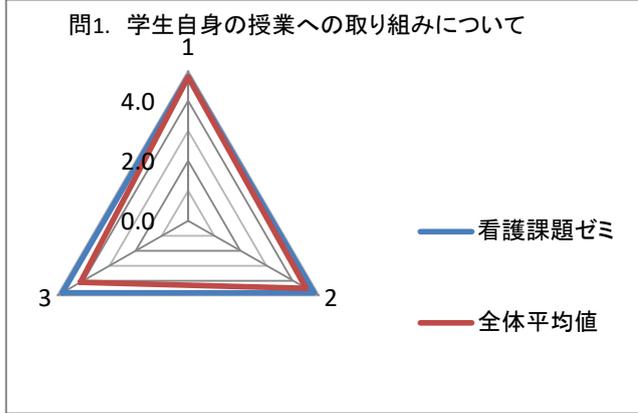
問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	医療経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.4	4.9

令和3年度第4学年後期「看護課題ゼミ」授業評価結果

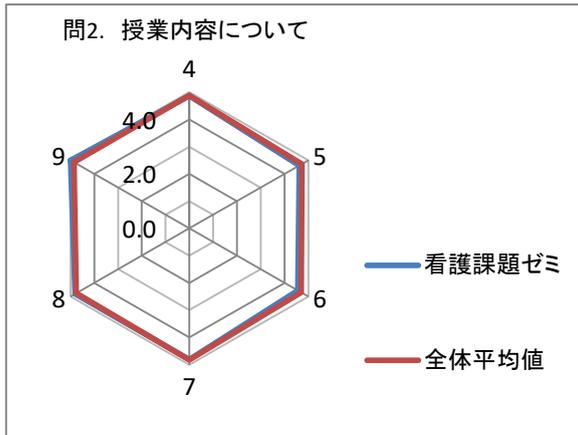
1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	16	18%



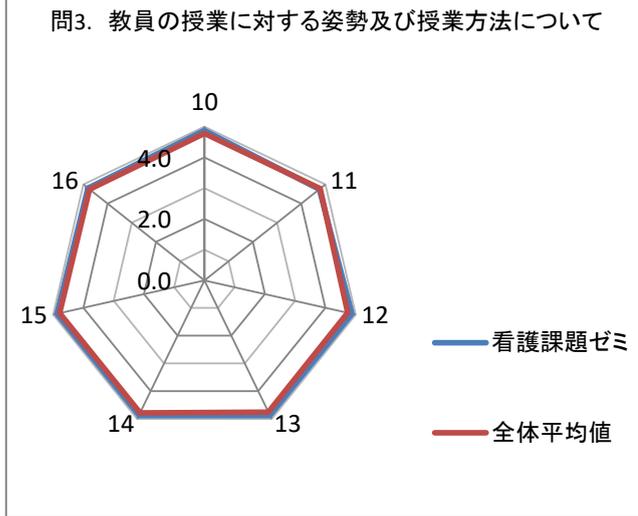
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.8	4.1	3.4	4.8



問2. 授業内容について

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.9	4.5	5.0



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.4	4.9

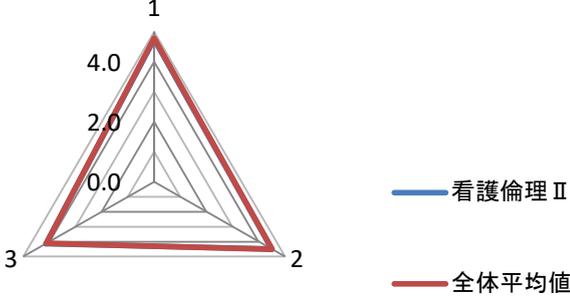
令和3年度第4学年後期「看護倫理Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
18	8	44%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

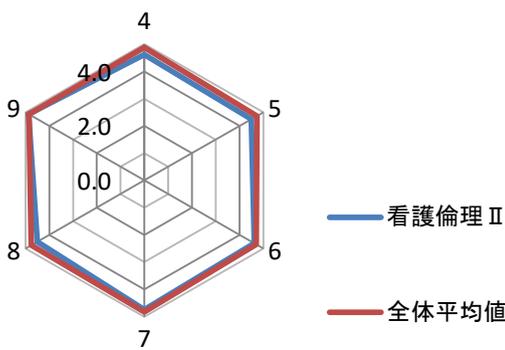
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.1	4.1	3.4	4.8

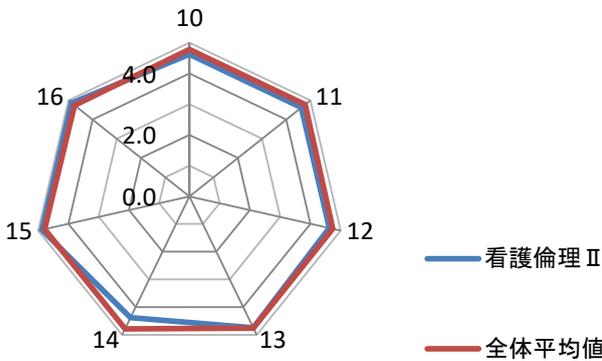
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.4	4.9

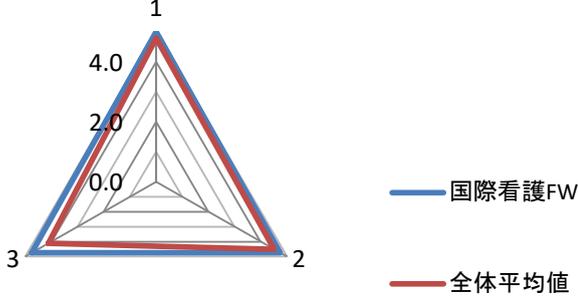
令和3年度第4学年後期「国際看護FW」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
4	4	100%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

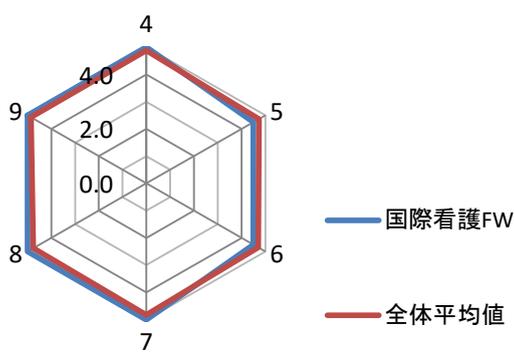
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護FW	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.8	4.1	3.4	4.8

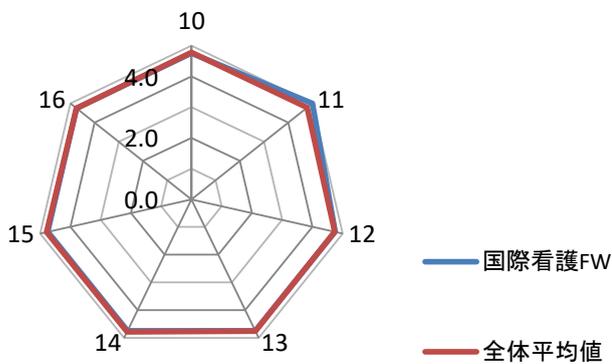
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	国際看護FW	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	国際看護FW	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.4	4.9

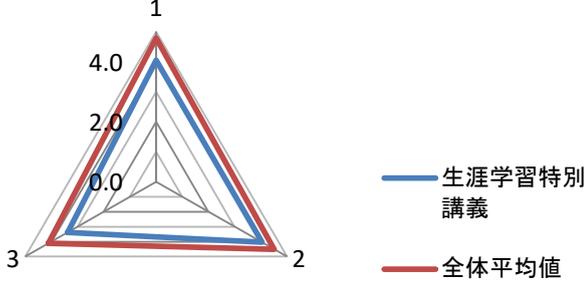
令和3年度第4学年後期「生涯学習特別講義」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	21	24%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

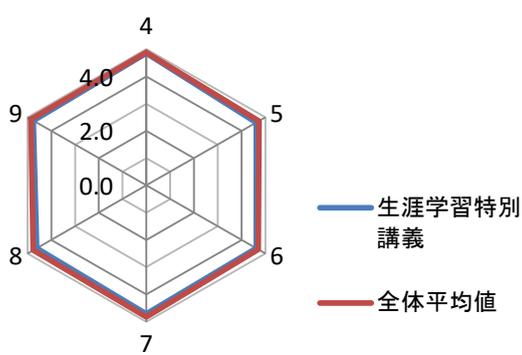
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生涯学習特別講義	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.0	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.4	4.1	3.4	4.8

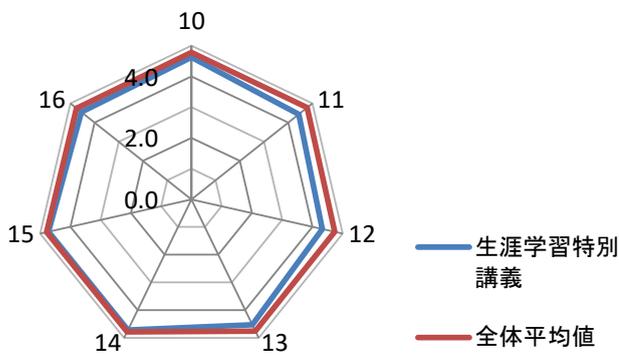
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生涯学習特別講義	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生涯学習特別講義	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.7	4.4	4.9

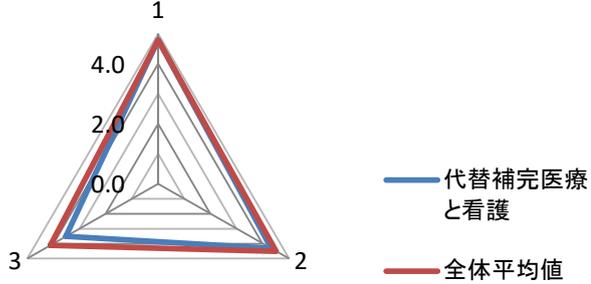
令和3年度第4学年後期「代替補完医療と看護」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
46	25	54%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

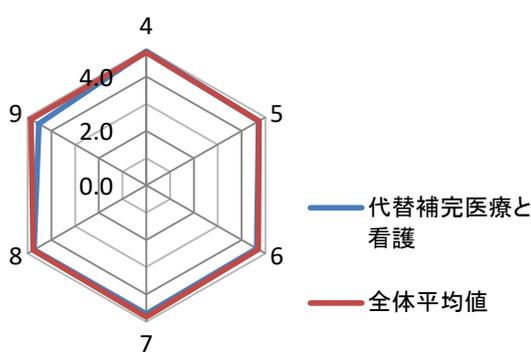
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	4.1	3.4	4.8

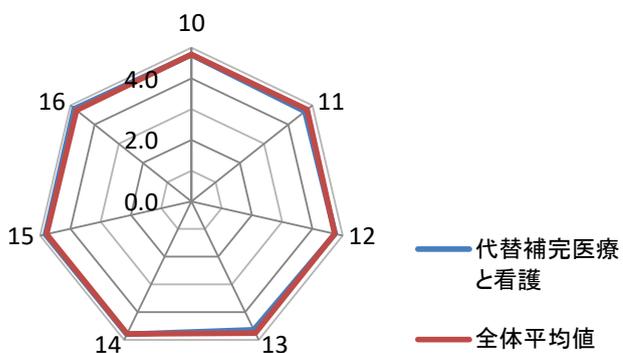
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.4	4.9

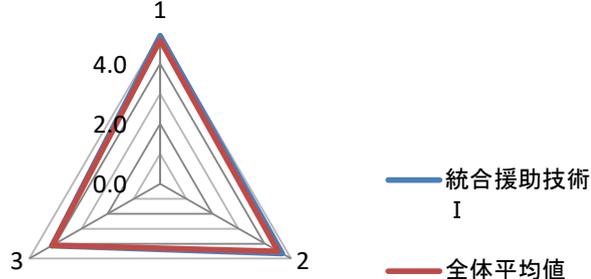
令和3年度第4学年後期「統合援助技術 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
30	15	50%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

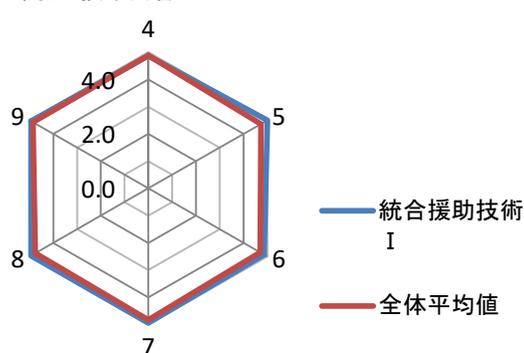
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.1	4.1	3.4	4.8

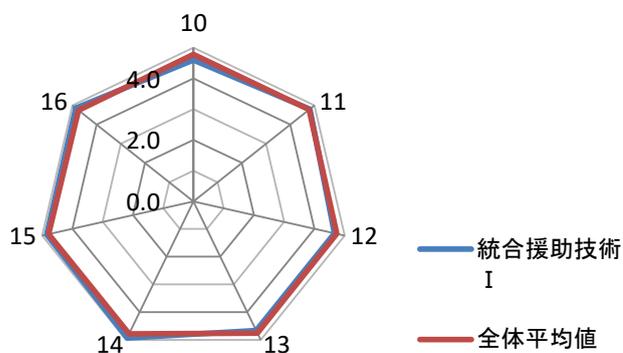
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.9	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.4	4.9

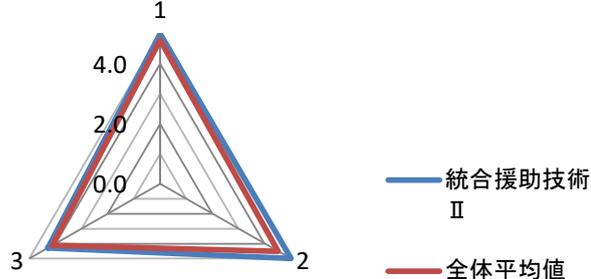
令和3年度第4学年後期「統合援助技術Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
18	7	39%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

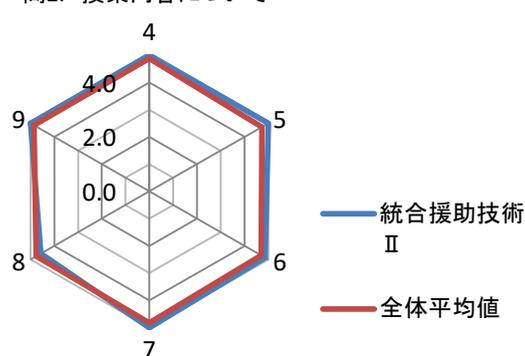
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統合援助技術Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	5.0	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.3	4.1	3.4	4.8

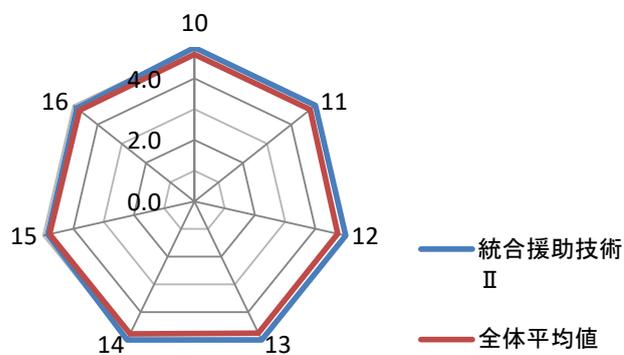
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	統合援助技術Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統合援助技術Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.4	4.9

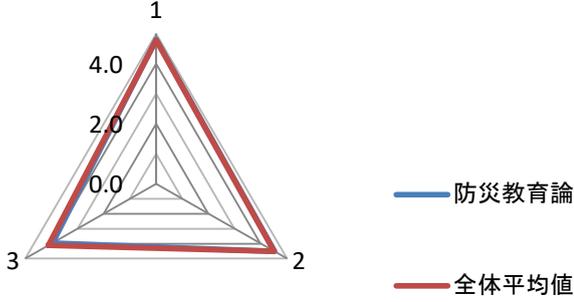
令和3年度第4学年後期「防災教育論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
75	21	28%

実施時期(令和3年 月 日～令和3年 月 日)

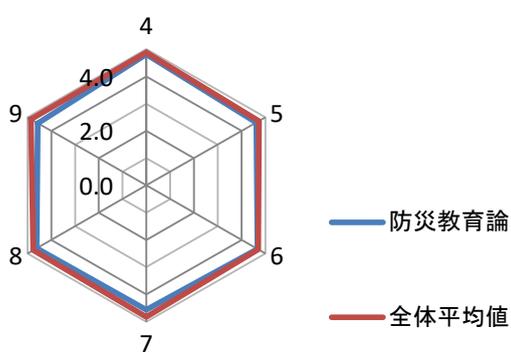
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	防災教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.0	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.5	4.0	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	4.1	3.4	4.8

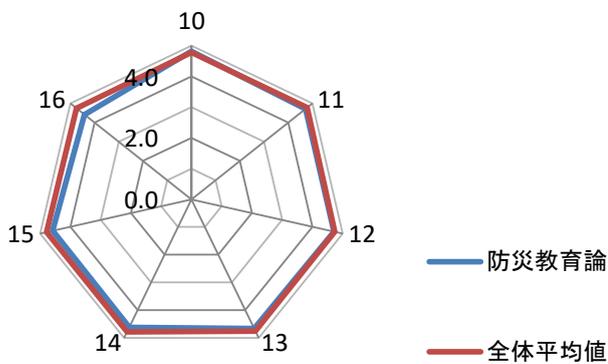
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	防災教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.9	4.6	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.7	4.5	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.7	4.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.8	4.6	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.8	4.5	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.9	4.5	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	防災教育論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.6	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.8	4.4	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.7	4.3	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.8	4.5	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.8	4.4	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.8	4.6	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.7	4.4	4.9

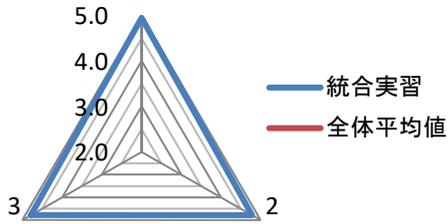
令和3年度第4学年後期「統合実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	37	42%

実施時期(令和3年 月 日～令和4年 月 日)

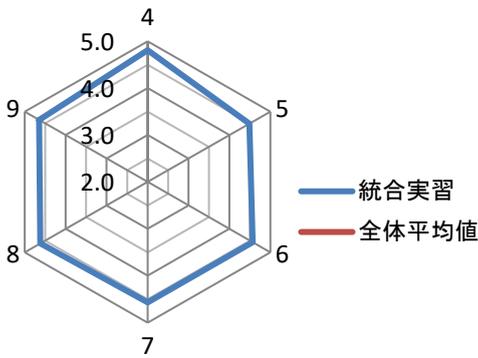
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.9		—	—
2 予習と復習を積極的に行った。	4.8		—	—
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8		—	—

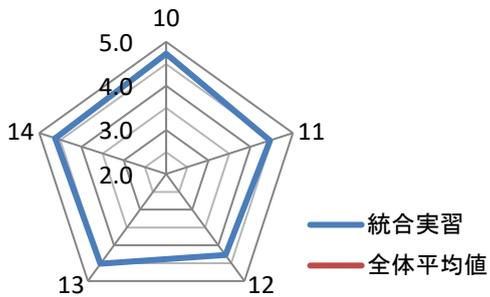
問2. 授業内容について



問2. 実習内容について

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 学習目標を達成するために多くの学修体験が得られた。	4.8		—	—
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.5		—	—
6 実習記録は学修を深める上で効果的であった。	4.6		—	—
7 課せられた実習記録や課題の量は適切であった。	4.6		—	—
8 看護への興味や関心が高まった。	4.6		—	—
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.6		—	—

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.7		—	—
11 教員と実習施設の連携がとれていたので実習がやりやすかった。	4.5		—	—
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.3		—	—
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.5		—	—
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	4.6		—	—